

復興庁平成25年度「新しい東北」先導モデル事業「住民主体の共生型支え合い拠点・立ち上げ支援事業」

住み慣れた地域で暮らし続けるための 「共生型支え合い」立ち上げ支援講座

資料－1

「共生型支え合い」ってなんだろうか

地域の中で支え合う活動・事業をどのように進めていったらいいのか、それを先進的に実践されているところを参考に考えていこうと思います。しかし、そのまえにそもそも「共生型支え合い」とはなんでしょうか。実践を聞くまえに、少し整理をしておいた方がいいように思います。

考え方の整理に役立ちそうな概念、枠組み

エドガー・シャインの助け方、助けられ方上手

- 原則1 与える側も受け入れる側も用意ができているとき、効果的な支援ができる。→感情を受け入れる
- 原則2 支援関係が公平なものだと見なされたとき、効果的な支援が生まれる。→本人に聞く
- 原則3 支援者が適切な支援の役割を果たしているとき、支援は効果的に行われる。
- 原則4 あなたの言動のすべてが、人間関係の将来を決定づける介入である。
- 原則5 効果的な支援は純粋な問いかけとともに始まる。→先入観を最小限に
- 原則6 問題を抱えている当事者はクライアントである。→決めるのはクライアント
- 原則7 すべての答えを得ることはできない。→問題を分かち合う

支援と受援

「ちょこっとねっと」は、2012年1月に障がい児者の保護者11名を中心に発足し「地域に見守ってくれる人が増えること」「障がい児者の家族と本人が受援力を高めること」を願い、冊子を作成しました。<http://homepage2.nifty.com/paruke/tyokotto.html>

内橋克人さんの共生経済

競争セクター：分断・対立・競争 市場競争原理至上主義 失業・格差・不安
共生セクター：連帯・参加・協同 豊かさ（生きる、暮らす、働く） 安心な生活

金子郁容さんの「いいコミュニティ」の作り方

「いいコミュニティ」づくりのレシピ1：多様な出番を用意する

「いいコミュニティ」づくりのレシピ2：フォーマル組織にも目を向け、仲間に

「いいコミュニティ」づくりのレシピ3：制度設計者と制度活用者の区別

7つのツール

- 1 コミュニケーションをよくする
- 2 きっかけを作る、誘う、巻き込む

- 3 一緒に汗をかく
- 4 自分から動く
- 5 成果の可視化、共有
- 6 論理で正目突破する
- 7 実践を促進するためのルールを作る

「いいコミュニティ」づくりのレシピ4:「ルール」「ロール」「ツール」の意図的デザイン、実践

ソーシャル・キャピタル (社会関係資本)

ネットワーク、つながり、信頼、互酬性規範、社会関係
結句型、橋渡し型

インセンティブ (誘因)

経済的インセンティブ: 金銭的報酬

社会的インセンティブ: 社会的地位、面目

倫理的インセンティブ: 罪悪感

Q 遅刻する親に追加料金を課したら、遅刻が倍に増えた。(イスラエル ハイファの保育園)

事例の整理について

1. 地域生活支援オレンジねっと (宮城県仙台市)
2. ひなたぼっこ・あがらいん (宮城県仙台市・石巻市)
3. すずの会 (神奈川県川崎市)
4. このゆびと一まれ (富山県富山市)
5. 大曾倉ふれんど (長野県駒ヶ根市)
6. あんじゃネット大鹿 (長野県大鹿村)
7. 遊友 (大阪府豊中市)
8. つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市)
9. ふれあい鹿塩の家 (兵庫県宝塚市)
10. 森の巣箱 (高知県津野町)
11. 三原さん家 (福岡県久留米市)
12. 沖代すずめ・沖代どんぐりサービス (大分県中津市)
13. やねだん (鹿児島県鹿屋市)

事例の類型

事業所 事業形態 活動、制度外（補助、自主）、制度

実践者 雇用形態 ボランティア（有償、無償）、中間的雇用、一般的雇用（正規、非正規）

注：以下、●▲は該当しているところ

生きがい活動（遊友、すずの会、つどい場さくらちゃん）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	●	△	
制度外	○	○	○
制度	△	○	○

生きがい仕事（オレンジねっと、やねだん）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	●	▲	
制度外	○	○	○
制度	△	○	○

地域住民事業（森の巣箱、沖代すずめ・沖代どんぐりサービス）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	●	▲	
制度外	●	●	○
制度	▲	●	○

地域共同型デイ（ふれあい鹿塩の家）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	●	▲	
制度外	●	●	●
制度	▲	●	●

施設+地域（三原さん家）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	●	▲	
制度外	●	●	●
制度	▲	●	●

制度先行（ひなたぼっこ・あがらいん）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	●	▲	
制度外	●	●	●
制度	▲	●	●

地域事業（大曾倉ふれんど、このゆびと一まれ）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	○	△	
制度外	○	●	●
制度	△	●	●

地域包括事業（あんじゃネット大鹿）

事業形態\雇用形態	ボランティア	中間的雇用	一般的雇用
活動	○	△	
制度外	○	○	●
制度	△	○	●

参考文献

- 稲葉 陽二(2011)『ソーシャル・キャピタル入門 - 孤立から絆へ (中公新書)』中央公論新社。
- 今村晴彦・園田紫乃・金子郁容(2010)『コミュニティのちから—“遠慮がちな”ソーシャル・キャピタルの発見』慶應義塾大学出版会。
- 内橋克人(2009)『共生経済が始まる』岩波書店。
- 神谷秀之・桜井誠一(2013)『自治体連携と受援力』公人の友社。
- エドガー・シャイン(2009)『人を助けるとはどういうことか』英治出版。
- 小林好宏・梶井祥子編著(2011)『これからの選択 ソーシャル・キャピタル 地域に住むプ
ライド』北海道開発協会。
- ロバート・D. パットナム、柴内 康文 (翻訳) (2006)『孤独なボウリング—米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房。
- 広井良典(2013)『ケアとは何だろうか (講座ケア—新たな人間 - 社会像に向けて)』ミネル
ヴァ書房。
- 矢野誠(2005)『「質の時代」のシステム改革 よい市場とは何か?』岩波書店
- スティーヴン・レヴィット, スティーヴン・ダブナー, 望月 衛 (翻訳) (2006)『ヤバい経済
学 —悪ガキ教授が世の裏側を探検する』東洋経済新報社。

東北福祉大学 高橋誠一

復興庁平成25年度「新しい東北」先導モデル事業「住民主体の共生型支え合い拠点・立ち上げ支援事業」
住み慣れた地域で暮らし続けるための「共生型支え合い」立ち上げ支援講座

発行日：2014年2月23日

発行：特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1階
TEL:022-727-8730 URL:<http://www.clc-japan.com/>
